

万が一の水没事故に備えましょう！  
脱出の際に有効な「自動車用緊急脱出ハンマー」

近年、豪雨による道路の冠水や川の氾濫等で、水没した車内に乗員が閉じ込められてしまったという報道が増えています。

自動車が一定の深さまで水没してしまうとドアに水圧が加わり、ドアを開けることが困難になり、さらに浸水が進むと電気系統が故障してパワーウィンドーが動かなくなるおそれがあります。また、自動車が一定以上の衝撃が加わるとシートベルトがロックされます。

シートベルトを切断し、ドアガラスやサイドガラスを破砕して車外へ脱出するためにはシートベルトカッター付きの自動車用緊急脱出ハンマーが有効です。

ただし、フロントガラスや一部車種のドアガラスに用いられている「合わせガラス」は緊急脱出ハンマーで破砕できません。自分の自動車のどの箇所のガラスが緊急脱出ハンマーで破砕できる「強化ガラス」(ガラスに表示されたJISマーク付近に“T”または“TP”の表記がある)なのかをあらかじめ確認しておきましょう。自分の自動車で使用可能であれば、緊急脱出ハンマーを備えましょう。

緊急脱出ハンマーは、事前に試すことが難しいため、JIS規格等のマークの付いている信頼できる商品を選びましょう。運転者がシートベルトに拘束されて身動きが取れなくなっても手の届く所に、安全に固定して常備しましょう。

そもそも、水没事故から身を守るためには、急激に水かさが増したり冠水したりした道路には進入しないようにしましょう。自動車が水没してしまっても、まずは落ち着いて「シートベルトを外す」、「ドアや窓を開ける」ことができるかを試みましょう。窓を開けたりドアガラスを破砕したりすることができないときは、車内外の水圧差がなくなるまで待ち、ドアを開けて脱出しましょう。

(参考:国民生活センターHP)